



第 號
 起 十一年一月 日
 裁可 年 月 日
 施行 年 月 日

内閣總理大臣 是

内閣書記官長

内閣書記官

大正十二年一月十日 内閣總理大臣

宮内大臣宛

申 牒

正二位大勲位候爵大隈重信ハ別紙功績
 書ノ通功績顯著ナル者、付左記ノ通陞
 爵ノ儀詮議相成度

内閣

記

正二位大勲位候爵大隈重信
 依勲功特陞授公爵

二十三

功績書

正二位大勲位侯爵大隈重信

右ハ舊佐賀藩士ニシテ夙ニ勤王ノ志ヲ抱キ
國事ニ盡瘁ス明治元年三月徵士參與職
外國事務司判事出身以來長崎府判事、外
國官判事、外國官副知事、參與職、大藏大輔、
民部大輔、參議等ニ歷任シ主トシテ財政
及外交ノ事ヲ鞅掌ス其ノ間大改造幣寮
ノ創設、鐵道ノ創建等ニ盡カス尋テ大藏
省事務總裁兼大藏卿トナリ七年臺灣蕃

内

閣

地事務局長官、征討費總理事務局長官トナ
リ十一年地租改正局總裁、十二年條約改正
御用掛トナル十四年十月依願免本官トナ
リ此ノ間東京專門學校ヲ起シテ育英ノ
事ニ從フ尔後引續キ早稻田大學子トナリ
以テ今日ニ至ル二十年五月特旨ヲ以テ華
族ニ列セラレ勲功ニ依リ特ニ伯爵ヲ授ケラ
ル翌年二月外務大臣トナリ專ラ條約改正
ノ事ニ膺ル二十二年樞密顧問官トナリ二
十四年 月依願免本官トナル二十九年

再々出テ、外務大臣トナリ三十年三月農商
務大臣ヲ兼任ス今年十一月依願免本官並
兼官三十一年六月大命ヲ拜シテ内閣ヲ組
織シ内閣總理大臣兼外務大臣トナル今年
十一月依願免本官並兼官大正三年四月再
々大命ヲ拜シテ内閣ヲ組織シ内閣總理大
臣兼内務大臣トナリ其ノ間大正三四年事件
並御即位大禮ノ事アリ五年七月勲功ニ依リ
特ニ陞シテ侯爵ヲ授ケラル今時ニ貴族院令ニ
依リ議員ノ位列ヲ得タリ今年十月依願免

内

閣

本官特ニ前官ノ禮遇ヲ賜ヒ併セテ御沙汰ヲ
賜フ七年勅旨ヲ以テ維新史料編纂會顧
問仰付ラレ前後功績顯著ナルモノトス